

令和五年のスタート 子どもたちに付けたい力

新年明けましておめでとうございます。1月10日に3学期がスタートしました。依然として新型コロナウイルス感染再拡大のため学校を取り巻く環境は厳しいものがあります。しかし、子どもたちの生きる力、確かな学力、そして未来への希望など大切なものを職員一丸となって一生懸命伸ばしていきたいと思っております。

「子どもを伸ばす」。とても難しいことだと思います。その第一義は、「魚を与えれば、1日もつ。魚のとり方を教えれば、一生もつ」という先人が残した格言のとおり、将来立派に自立できる力を身に付けさせることだと思います。私はそのために必要なものは「自信」と「他者尊重の念」だと思っています。

この二つがあれば、学ぶ意欲をもち、他者と協調しながら目標に向かって進み、失敗から学ぶことができると考えます。学校は「確かな学力」を高めることが使命です。ただ、その指標の一つとされるペーパーテストの点数、すなわち「目に見える学力」は、学力のほんの一部分に過ぎません。子どもたちを育てる立場の大人が、それを共通理解しておくことがとても大切だと思います。医学博士で歌人 斎藤茂吉の次男でいらっしやった故 斎藤 茂太先生は、著作の中で、次のように述べておられました。

「最近の親は、子どもの能力を学力だけで判断しているようだ。学校の成績の変化に大変敏感で、ちょっとでも下降するとオロオロと狼狽し、やれ塾だ、家庭教師だ、と騒ぎ立てる。

これが間違いの元である。小学校や幼稚園、あるいは中学校の時期でも、子どもの正しい評価なんてできやしない。というより、してはいけないのだ。大器晩成の人間であれば、幼い頃はあらゆることが平均以下であることも多い。実際、天才といわれた人々…エジソンにしろ、アインシュタインにしろ、ほとんどが、子どもの頃は出来が悪かったものだ。

反対に、子どもの頃は非常に優秀で、神童などといわれた人でも、年を取るにしたがって何の変哲もない人間になる人も多い。これを親が嘆き、叱咤激励したところで、おそらく無駄であろう。人よりちょっと早熟ただただ、今年年相応になった子どもに「前はもっとできたじゃないの」とハッパをかけたところで、子どもにとっては拷問でしかない。それは、つまるところ昔の栄光にいつまでもすがりついている親の一方的な思い込みに過ぎないのだ。

いずれにしても人間の本当の評価など、極端に言えば棺桶のふたをとじるまではわからないものだ。したがって、幼い頃の学校の成績に、いちいち神経質に反応する必要はない。かといって、完全に無関心でいるのもよくはない。長い広い目で子どもの能力を見つめつつ、どのように激励すればいいのか、子どもの性格に合わせて考え、対応していくのが正しい「しつけ」のあり方ではないだろうか。勉強ができることだけをよしとする親の価値を子どもに押し付けるのはよくない。

親には子どもにとって学力よりも必要なものがあることを認識してほしい。それは「意志の力」と「感情の豊かさ」である。これこそが、人間としてもつべきものとして最も大切なことだ。(中略)

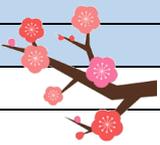
子どもの能力が文学系に向いているにもかかわらず、「その方面では飯を食うのも大変だから、技術者になれ」などと自分の意見を押し付けてはいけない。学歴コンプレックスから子どもには「絶対大学まで行け」などと頭ごなしに強制するのも然り。(中略)繰り返すが、学校の成績は子どもの能力のごく一部であって、すべてではない。子どもの能力が大人の判断を超えることも、しばしばあるのだからあたたかく見守ろう。」(斎藤 茂太『鯊が9割(伸びる子)をはぐくむ魔法の習慣』(ビジネス社刊)より引用)

斎藤先生は、「感情の豊かさ」とは「人の感情を理解する感性」と捉えていらっしやったようです。意志の力と、感情の豊かさ。「自信」と「他者尊重の念」と相通じるものがあるように感じました。

この学校だよりをお読みくださっている皆様も、きっと同じ思いをおもちだと考えています。特に職場において、チームワークほど大切なものはありません。信頼できる仲間と一致団結して、あきらめず、粘り強く同じ目標に邁進するためには、この二つが大切です。それは、ペーパーテストの点数では決して測ることのできない、子どもの大切な「生きる力」です。だからこそ、学校・家庭・地域が連携してその力を伸ばしていきたいと思うのです。

吉川市のかげがえのない宝物である子どもたちの将来の自立と、幸せに生きる力の基礎を築くために、ご家庭や地域の皆様と意思を一つにして、令和5年も努力していきたいと存じます。三学期も宜しくお願いたします。

1月の行事予定

日	曜	轡	行 事	日	曜	轡	行 事
1	日		元日 冬季休業日	16	月	国	給食費再引落日
2	月			17	火	仲	
3	火			18	水	体	クラブ かがやきタイム
4	水		給食費引落日 (2か月 8,200円)	19	木	算	避難訓練(不審者) PTA運営委員会
5	木			20	金	読	ふれあいデー
6	金			21	土		
7	土			22	日		
8	日			23	月	国	
9	月		成人の日	24	火	学	
10	火		登校指導 第3学期始業式 特別日課3時間授業 一斉下校	25	水	体	クラブ
11	水	学	登校指導 給食開始 発育測定(5.6年)委員会	26	木	算	食育指導(3年)
12	木	算	登校指導 発育測定(3.4年) 学校保健委員会	27	金	読	北谷小入学説明会 花の子相談
13	金	読	発育測定(1.2年,少人数)	28	土		
14	土		PTA資源回収	29	日		
15	日			30	月	国	
朝の活動 表・表彰 国・ぐんぐん国語 学・学級の時間 読・読書の時間 算・ぐんぐん算数 体・体育朝会 音・音楽朝会 仲・仲良さアンケート				31	火	朝	

※毎月21日あるいはその前後を「ふれあいデー」としています。1月のふれあいデーは20日(金)です。ふれあいデーの際には、職員は16:50に退勤するため電話等に対応することができません。ご了承くださいませよう、よろしくお願ひします。

1月

生活目標 気持ちのよいあいさつをしよう

おはようございます!!



保健目標 早ね・早おきをしよう

校内書き初め展

12月13日(火)に校内書き初め展が行われました。お手本をよく見て、「とめ・はね・はらい」や文字のバランスに気を付けながら仕上げることができました。ご来校の際には、是非作品をご覧ください。

なお、各学年の課題は以下のとおりです。

- 1年生 「お正月」
- 2年生 「はつ日の出」
- 3年生 「しぜん」
- 4年生 「なの花」
- 5年生 「明るい声」
- 6年生 「緑の大地」



「登り棒」の リニューアルについて

老朽化のため使用できないでいた登り棒が、冬季休業中に新しく設置されました。場所は「やすらぎの森」付近です。



古布のご提供に ご協力ください

消毒作業で使用する古布のストックが少なくなってきました。ご家庭で不要になったタオルや布巾等がありましたらご提供ください。随時お待ちしております。

2月の主な行事予定

- 1日(水) スクールカウンセラー来校(午後)
- 7日(火) 小中一貫教育研修会のため特別日課4時間授業(全学年)
- 11日(土) 建国記念の日
- 15日(水) クラブ見学のため3年は6時間授業
- 17日(金) 授業参観
ピンク・黄色コース
5時間授業(全学年)
- 20日(月) 授業参観
赤・オレンジ・水色コース
- 23日(木) 天皇誕生日
- 27日(月) 新通学班編成

PTA活動へのご協力に 感謝いたします

2学期末12月22日(木)の放課後、PTAのご担当の方々に教室清掃とワックスがけを実施いただきました。床がピカピカになった教室で清々しい3学期を迎えることができました。ご多用の中、大変ありがとうございました。